

ひがし労 東京

JR東労働組合 東京地本
 発行人 関根 輝明
 編集者 情宣 担当者

4月28日「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急申し入れ」(2月28日提出)交渉を行う！！

交渉にあたって、ひがし労東京地本は『本部本社間での議論に踏まえスピード感を持って整理していく。JR東日本会社での社長年頭所感では、「サービス品質向上、経営体質含め、全ての社員・家族が心豊かになれるように心がけていく」となっている。心豊かな生活を守るために、現状のコロナ対策で、この会社の指針である施策、危機管理において、このスタンスでやろうとしているのか？ 疑問である。重要なことである。働く人の命と暮らしをどのように守っていくのかが、今の会社の課題である。経営の課題として考えるべきである。職場現実からみるとズレていると感じざるを得ない。申し入れから2ヶ月もほっとくなど、どうゆうことか。危機意識があれば、向かう意識が働き、一緒に向かおうとなると思う。回答はこの場では求めないが、上部に伝えるべき。』と主張しました。

1. 国内における新型コロナウイルスの感染者拡大と感染者の死亡に踏まえた現状認識について明らかにすること。

回答 新型コロナウイルス感染症については、政府による「緊急事態宣言」が全国的に発令されているところである。

2. 当社及びグループ会社並びに関連会社等が取り組んでいる対策と対応について明らかにすること。また、主幹ごとの対策・対応、並びにJR東日本ステーションサービス東京支店との連携を明らかにすること。

回答 対策本部を設置したうえで、公共交通機関として国や関係行政機関と連携し、感染防止対策の徹底に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症については、グループ会社と連携し情報共有に努め、必要な対応を行っている。

6. JR東日本グループ社員から感染が発覚した場合の対応等の考え方を明らかにすること。

回答 新型コロナウイルス感染症については、グループ会社と連携し情報共有に努め、必要な対応を行っている。

7. 業務中においては、全社員を対象にマスクの着用を義務づけること。

回答 全社員に対し、業務中のマスク着用を指示しているところある。

1項、2項、6項、7項での議論

(組合) コロナ対策本部として対応しているが現状の対策で万全か、不備な点はないか。

(会社) コロナウイルスがどの様に広まるか常に意識している。政府の発表、指示通り行なっている。ここが問題とは言えない。日々対応・対策に心がけている。感染防止にマスクを配布している。

(組合) 本体含めグループ会社(全社員・エルダー社員・家族)に行き届く様にすべき。その責任主管部はどうなっているのか。

(会社) 本社指導で取り組んでいる。コロナ対策本部は本社・支社・地区指導センターにある。各現場の様子を見て対応している。

(組合) 本体含めグループ会社の社員からはマスクが不足していると聞いている。安心して業務、日常生活ができるように、上申してほしい。

(会社) (うなずくのみ。)

3. 新型コロナウイルスの感染者拡大が増大している中における車両や駅構内の清掃等の考えを明らかにすること。

回答 順次必要な消毒等を行っている。

3項での議論

(組合) 現在も消毒を行っているのか。

(会社) 行っている。電車庫から営業車全てにおいて行っている。